



鳥栖っ子

合言葉
～「つなぐ」～

コミュニティスクール

鳥栖市立 鳥栖小学校
文責 校長 古賀 康弘



“手と手をつなぎ 心をつなぎ” みんなで助け合う みんなの笑顔のために

○冬休みも優しく、穏やかに、健やかに○

今日は2学期最後の登校日。4年ぶりに体育館に全校の子供たち、先生方が集まって2学期の終業式を行いました。コロナ禍前はあたり前に行われていたことですが、久しぶりに鳥栖小のみんなが一堂に会して式を行うことができよかったです。

2学期は、運動会、研究発表会、修学旅行、にこにこ集会などの学校行事、保護者様や地域の皆様のご協力を得ての授業、PTA 主催の体験型の催しなどを行うことができました。その中で鳥栖小の多くの子供たちは、元気に優しく成長し、笑顔で学校生活を送ることができました。このことは、保護者様、地域の皆様のご支援のお陰です。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

11月に保護者様対象にいじめアンケートや体罰に係るアンケートを実施しました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。その中で、たくさんの貴重なご意見をいただきました。特に気になるご意見は、保護者様に直接電話でお話をさせていただきました。その他にも冬の服装のこと、登下校の子供の様子のこと、施設設備のこと、挨拶などについてご意見をいただきました。このことは、今後、教職員と話し合い、子供たちのためにしっかりと改善を図っていきたいと思います。また、教職員への労いのお言葉もたくさん書いていただきました。ありがとうございました。

さて、2学期の生活の中で子供たちに変化が見られたことは、挨拶です。「目の前にいる相手のことを認める意味のある挨拶」。礼儀正しく、立ち止まって、帽子を取って挨拶ができる子供たちが何人もいます。また、これまで校内では挨拶できる

子供たちも、地域ではなかなかできない子供も多かったのですが、随分できるようになりました。そのため民生委員の方や見守り隊の方からお褒めの言葉もいただくようになりました。これからも、校内はもちろんのこと、地域でもあたり前に挨拶ができる子供になってほしいと願っています。

今年度は、『つなぐ』を合言葉にやさしさいっぱいの子供たちがいる学校にしたいと取り組んでいます。子供たちの挨拶の変化がその一番の表れかもしれません。3学期も更にやさしさいっぱいの子供たちが増えるよう、教育活動を行っていきます。ご支援いただければ幸いです。さて、子供たちは、明日から2週間余りの冬休みに入ります。家族と心をつなぎ、優しく、穏やかに、そして健やかに年末・年始を過ごしてほしいと思います。

○6年生餅つき、保護者・地域の皆様と共に○

鳥栖小の入口におやじの会の方が作製された門松が飾られ、花壇には、園芸ボランティアの方に色鮮やかな花を植えていただき、新年を迎える準備が整う中、12月20日(水)、6年生が餅つきをしました。久しぶりの餅つきの開催ということで、6年生担任と学校運営協議会の皆さんが中心となり計画を進めてきました。学校にある石臼4つがフル稼働して、子供たちが、餅つき、餅きり、餅丸めを体験することができました。寒い中、朝早くからご協力いただいた保護者様、地域の皆様、本当にありがとうございました。6年生の良い思い出となりました。



【御礼】保護者様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後も「つなぐ」を合言葉に、保護者様、地域の皆様と心を通わせながら「やさしさいっぱい、元気いっぱい、やる気いっぱい」の鳥栖っ子を育てていきたいと思っております。よろしく願います。それでは少し早いですが、皆様、良いお年をお迎えください。(教職員一同)